

宮崎放送

活動名	MRT おはなし会
実施期間	令和 7 年 7 月 6 日・令和 8 年 1 月 25 日
実施回数	ラジオ放送 2 回
配信または貸与期間	①令和 7 年 7 月 6 日 ②令和 8 年 1 月 25 日
配信または貸与作品数	① 3 作品 ②4 作品 (計 7 作品)

【事業実施の成果・課題】

今年度も、例年に引き続き、ラジオでの読み聞かせを行いました。

「音」だけの世界だからこそ、聴取者の皆さんがそれぞれ想像し、想いを膨らませられるという魅力があると感じています。

今回は、MRT の美術部員が制作した作品（原作は絵本）や、生成 AI「Gemini」を使って制作した作品の朗読など、これまでにない新たな挑戦も行いました。

今後も、聴いてくださる方に楽しんでもいただけるような工夫を続け、様々な世代の皆さんに楽しんでいただける番組作りをしていきたいと思っています。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

＜読み手（朗読者）の感想＞

令和 7 年 7 月 6 日放送

＜藤島由芽アナウンサー（朗読作品：海に光るつぼ）＞

図書館で本を探しているなかで、「このお話は、自分の子どもにも読んで聞かせたい」そう思い、この本の朗読を決めました。絵本に描かれている“不思議なおじいさんの迫力”と、主人公の“ケンちゃんの子どもらしさ”を意識して読みました。ハラハラする場面もあったので、お話の世界に引き込めるように間や読む早さも変えながら、私自身も楽しく朗読できました。

＜古田とわアナウンサー（朗読作品：地雷ではなく花をください）＞

以前、「葉祥明 阿蘇高原絵本美術館」を訪れた際、この本に出会いました。

美術館自体が一つの画になるような世界観にとっても感銘を受けました。その美術館で葉祥明さんの本を手に取り、「おはなし会で朗読したい」と強く感じたことが、この作品を選んだ理由です。「ひとつとり除いたら花の種、ひとつとり除いたら木を 1 本植えましょう」この言葉を大切に、朗読しました。

＜清水 玲アナウンサー（朗読作品：六尺棒）＞

古典落語の演目のひとつ「六尺棒」をもとに粉川アナウンサーが現代版にアレンジしたお話を読みました。言うことを聞かない夜遊びが好きな娘と、頑固なお父さんとの親子の駆け引きを楽しんでもらえるようテンポと強弱を意識しながら、表情まで伝わるように読みました。

令和 8 年 1 月 25 日放送

＜相葉吏利アナウンサー（朗読作品：チューリップの芽）＞

今回の作品を選んだ理由は、お話を聴いてくださる方に「ほっこりとした気持ち」になってほしいと思ったからです。私の中で朗読には、聴いた後に心が温かくなるもの、というイメージがあり、そのイメージに最も当てはまっていたのが今回の作品でした。

朗読では、聴いている方それぞれの世界観で物語を感じていただきたいと思い、あえて間を取って想像する時間を作ることや、脚色しすぎず、物語本来の温かさが伝わるよう意識しました。

＜長井健悟アナウンサー（朗読作品：雨ニモマケズ）＞

小学校低学年の時クラスみんなで声を合わせて大きな声で読んでいたことを覚えています。

大人になって読んだ今回は宮沢賢治の気持ちや技術的なところを意識して読みました。宮沢賢治の代表作「アメニモマケズ」は誰もが一度は聞いたことがある詩。

朗読をきいてお子さんは一緒に口ずさんでほしいですし、大人は賢治の詩の深さを改めて感じていただけたと思います。

また親子でこの詩について語り合うのも盛り上がりそうです。私自身も小学生の自分と読み聞かせをした気持ちになりました。

＜古屋敷沙耶アナウンサー（朗読作品：みんなでみつけたたからもの）＞

MRT の美術部員が制作した絵本を読ませていただきました。

動物たちがワクワクしながら宝物を見つけ出す様子や、それによって気付かされた「自分たちがこの世界に欠かせない大切な存在」だということに気付く様子。場面ごとにメリハリがつくよう、テンポや声の表情を変えることを意識しました。

＜加藤沙知アナウンサー（朗読作品：僕と AI の距離）＞

今回、初めて生成 AI に物語を執筆させるという取り組みを実施してみました。

AI が提案してきた物語について、著作権の侵害がないか、内容に関して齟齬がないかなどの確認を、社内の担当部署とも協議を行い、朗読という形まで進めることができました。

人間と AI との関わり方、活用の仕方を、今後しっかりと見つめ、ガイドラインの作成が求められると感じた朗読でした。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

<リスナーさんからの感想>

- ・ AI の声と少年の声を読み分けるアナウンサーの技術はすごいと感じました。
- ・ 子どもと一緒に親である私も楽しませてもらいました。
- ・ 毎回楽しみにしている番組です。これからも色んな作品を期待しています。